



2023年12月期
第1四半期
決算説明資料



2023年5月26日
株式会社やまびこ



INDEX

1. 2023年12月期第1四半期 決算概要 3

2023年12月期第1四半期 総括	4
2023年12月期第1四半期 経営成績	5
連結売上高の地域別増減（円換算ベース）	6
連結営業利益の増減	7
四半期別業績推移	8
セグメント別経営成績	9
セグメント別売上高実績（地域別）	10
トピックス①	11
トピックス②	12

2. 2023年12月期業績予想 13

2023年12月期 通期予想	14
連結売上高の地域別増減予想（円換算ベース）	15
連結営業利益の増減予想	16

APPENDIX 18

会社概要	19
やまびこの歩み	20
業績推移と売上構成	21
事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）	22
事業セグメント：農業用管理機械	23
事業セグメント：一般産業用機械	24
国内生産体制	25
海外生産体制	26
主な販売経路	27
海外市場での販売とユーザー	28
日本市場での販売とユーザー	29
主なグループ会社の状況	30
関連指標等	31

1

2023年12月期 第1四半期 決算概要

2023年12月期第1四半期 総括

主力の海外OPEは、北米市場および欧州市場における販売が堅調に推移。また北米市場においては建設、エンターテインメントの増加により発電機の強い需要が続いており、一般産業用機械の販売が引き続き伸長。一方で国内においては、小型屋外作業機械が前年同期比で増収となったものの、肥料・燃料価格の高騰に伴う農業従事者の購買意欲減退の影響により農業用管理機械が減収。一般産業用機械も製品改修に伴う販売停止や新製品の発売遅延の影響などにより販売が減少。

市場	セグメント		前年同期比※1	当社販売状況
国内	小型屋外作業機械		+ 2.6%	良好な天候を背景に刈払機やチェーンソーの販売が堅調に推移し、昨年実施した価格改定効果もあり増収。
	農業用管理機械		▲ 13.1%	肥料・燃料価格の高騰に伴う農業従事者の購買意欲減退の影響により減収。
	一般産業用機械		▲ 11.4%	製品改修に伴う販売停止や新製品の発売遅延の影響などにより減収。
海外	小型屋外作業機械 (OPE) ※2	北米市場	+ 4.2%	プロユーザー向け販売が堅調に推移したことに加え、昨年実施した価格改定や円安による効果が寄与し大幅な増収。
		欧州市場	+ 1.4%	順調な天候に支えられ堅調な販売が継続したことにより増収。
	農業用管理機械	北米市場	▲ 8.9%	穀物価格が高値安定する市場環境の追い風を受けたものの、天候不順が影響し減収。
	一般産業用機械		+ 93.7%	北米を中心に旺盛な建設、エンターテインメント需要を背景に発電機の販売が伸長したことに加え、欧州で環境負荷の低いハイブリッド溶接機の販売が好調に推移したことで大幅な増収。

※1 為替の影響を除いた売上増減率 ※2 「OPE」 = Outdoor Power Equipment

2023年12月期第1四半期 経営成績

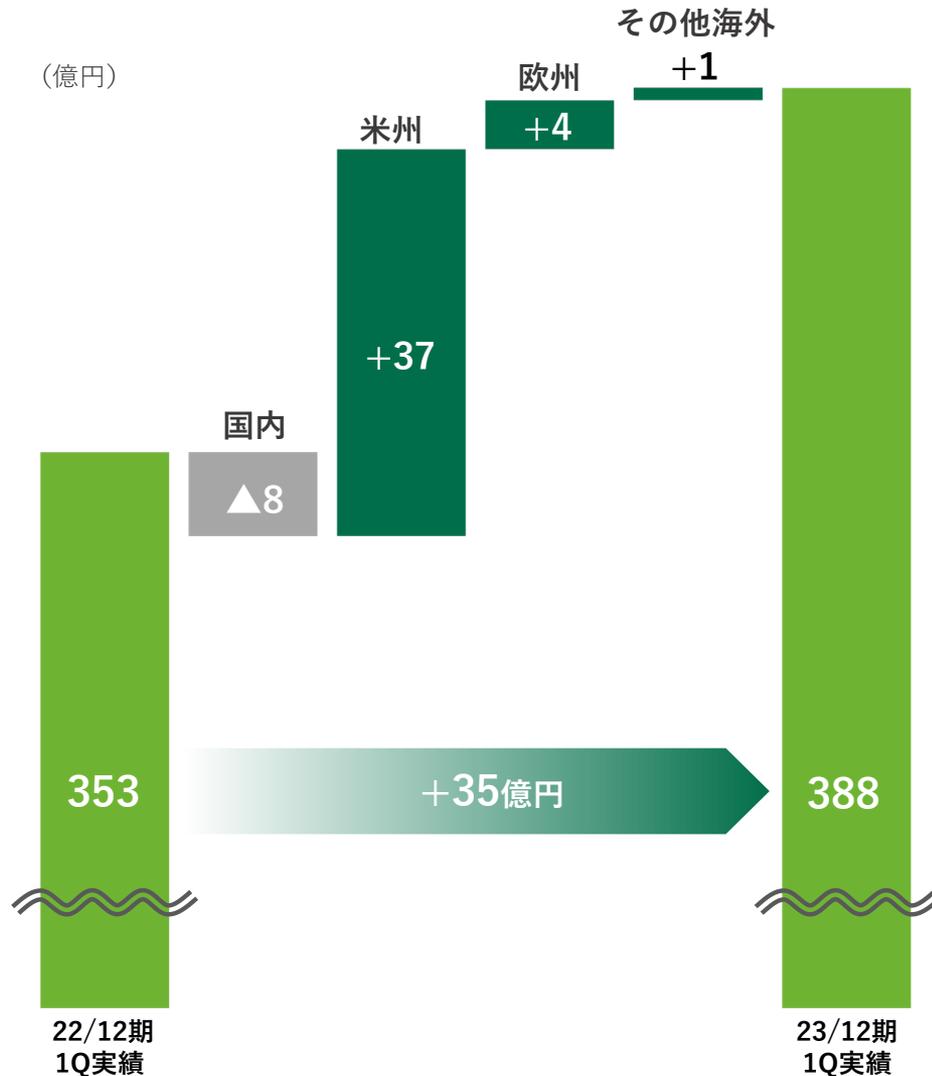
- 売上高は、国内農業用管理機械および一般産業用機械の販売が減少したものの、主力の海外OPEの販売が堅調に推移したことに加え、北米市場において一般産業用機械の販売が大幅に伸長したほか、円安による押し上げ効果もあり増収。
- 営業利益は前期に積み上がった北米子会社の製品および生産用部材の在庫の販売が今期計画通り進捗し収益化が進んだことに加え、為替の影響および昨年から国内外で段階的に実施してきた値上げ効果によって増益。それに伴い、経常利益および最終利益も増益。

(百万円)	22/12期 1Q実績	構成比 (%)	23/12期 1Q実績		
			構成比 (%)	前年比 (%)	
売上高	35,348	100.0	38,861	100.0	+ 9.9
売上原価	25,139	71.1	25,062	64.5	▲ 0.3
販管費	7,237	20.5	7,772	20.0	+ 7.4
営業利益	2,970	8.4	6,026	15.5	+ 102.9
経常利益	3,543	10.0	5,913	15.2	+ 66.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,797	7.9	3,831	9.9	+ 36.9

■ 為替レート

1ドル	115 円	133 円	+ 15.4%
1ユーロ	130 円	143 円	+ 10.4%

連結売上高の増減（円換算ベース）



国内

刈払機や畦草刈機など草刈関連機械の需要が底堅く推移し売上が伸長したものの、農業用管理機械および一般産業用機械の販売が落ち込み減収。

米州

北米市場において主力のOPE販売が堅調に推移したことに加え、一般産業用機械販売が伸長したほか、昨年実施した価格改定や円安による効果が寄与し大幅な増収。

欧州

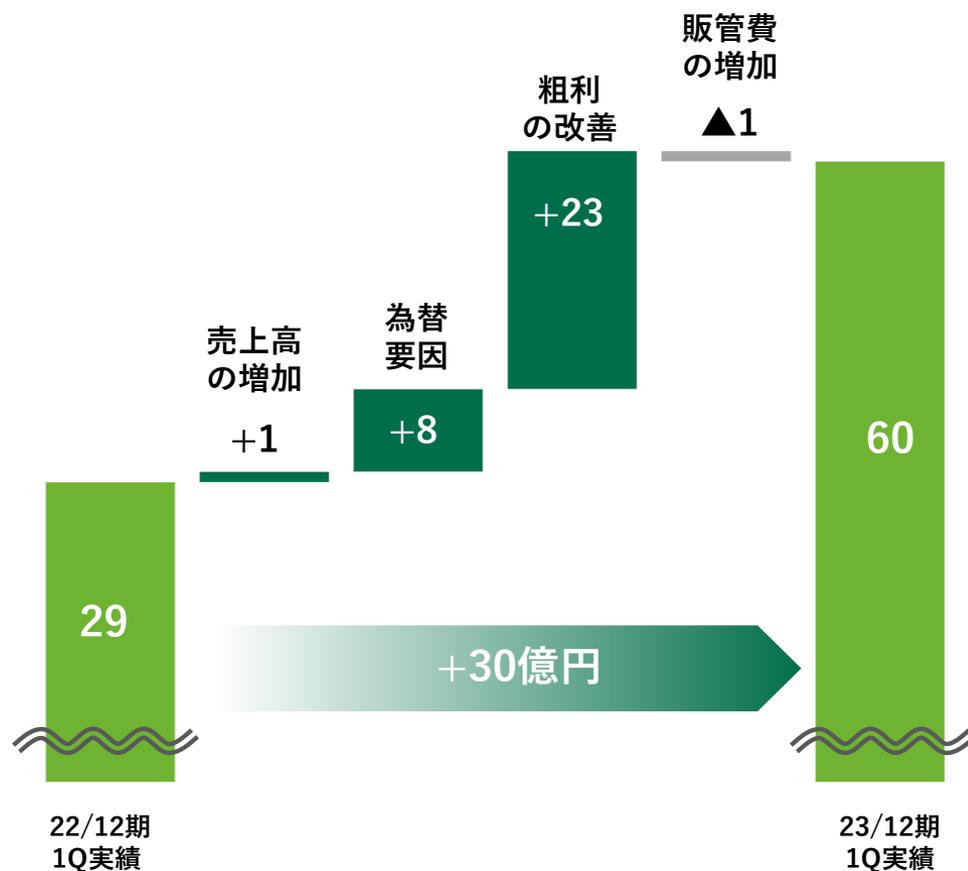
順調な天候に支えられOPE販売が堅調に推移し増収。

その他海外

オセアニアでOPE販売が伸長したことに加え、中近東で一般産業用機械販売が増加したことなどにより増収。

連結営業利益の増減

(億円)



売上高要因

為替の影響を除いた実質売上高の増加。

為替要因

円安に伴う利益の増加。

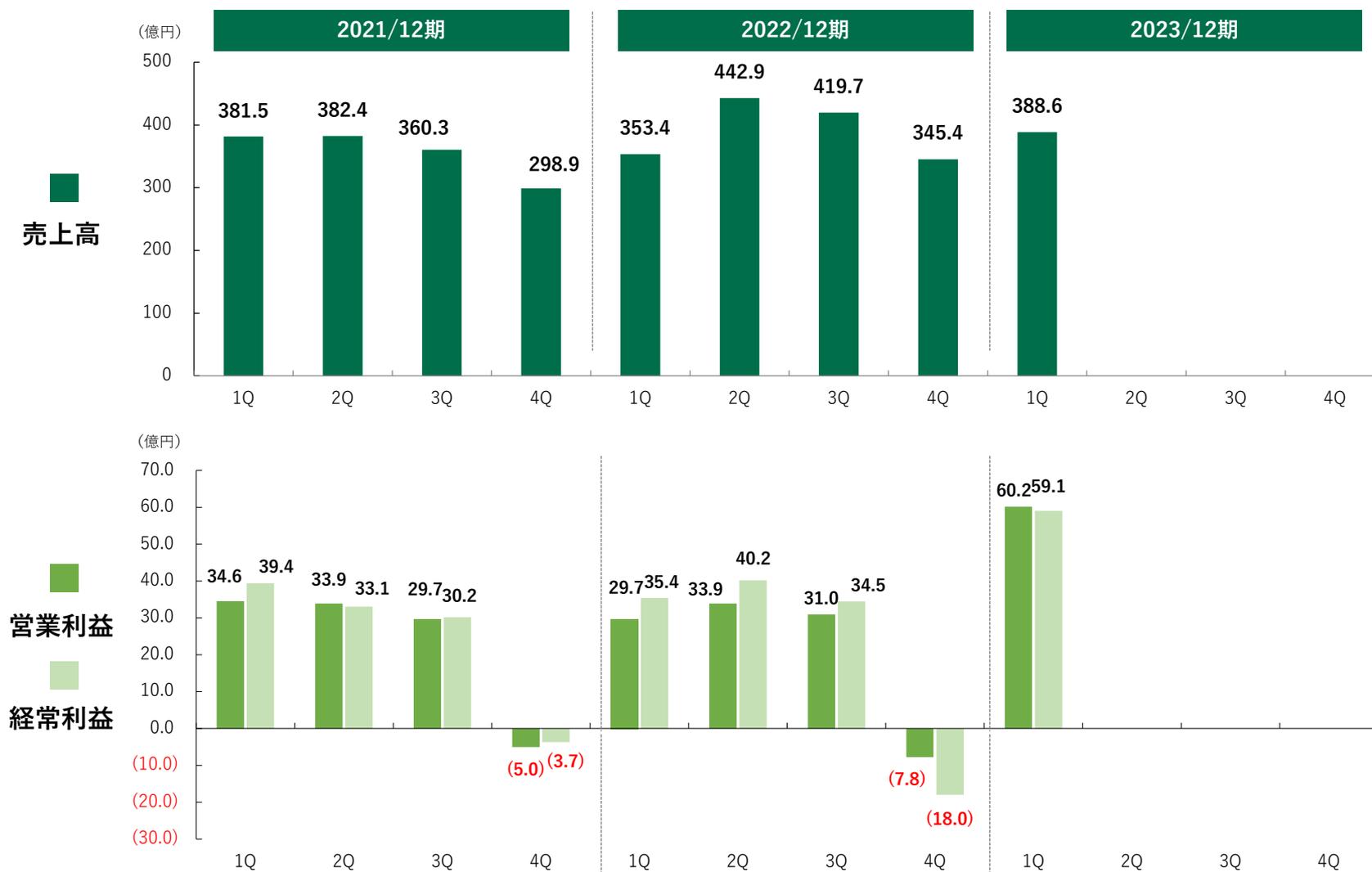
粗利

調達価格の上昇や前年同期に対する操業度低下の影響を受けたものの、前期に積み上がった北米子会社の利益率の高い在庫(未実現利益)の販売が進んだことで粗利が改善。

販売管理費

主に人件費の増加など。

四半期別業績推移



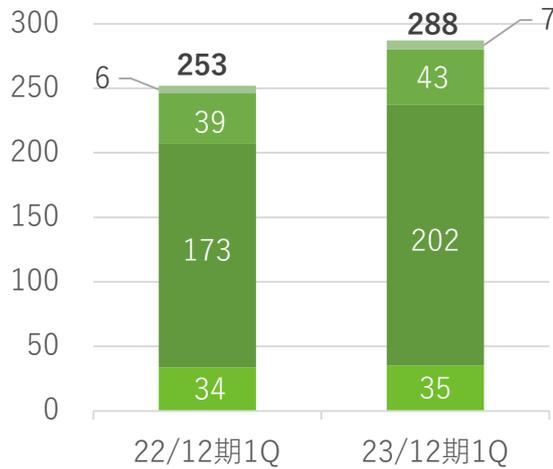
セグメント別経営成績

(百万円)	22/12期 1Q 実績		23/12期 1Q 実績		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年比 (%)
売上高	35,348	100.0	38,861	100.0	+ 9.9
小型屋外作業機械	25,300	71.6	28,892	74.3	+ 14.2
農業用管理機械	5,807	16.4	5,222	13.4	▲ 10.1
一般産業用機械	3,785	10.7	4,347	11.2	+ 14.8
その他	454	1.3	398	1.0	▲ 12.2
営業利益	2,970	-	6,026	-	+ 102.9
小型屋外作業機械	4,380	147.5	7,518	124.8	+ 71.6
農業用管理機械	168	5.7	229	3.8	+ 36.4
一般産業用機械	288	9.7	666	11.1	+ 130.9
その他	99	3.3	34	0.6	▲ 64.8
全社共通費	▲1,965	-	▲2,422	-	-

セグメント売上高実績（地域別）

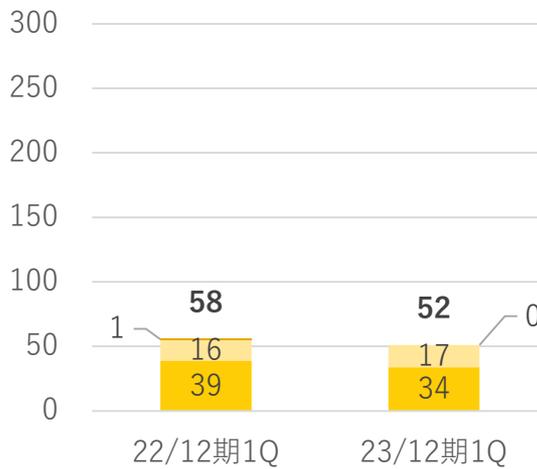
(単位：億円)

小型屋外作業機械（OPE）



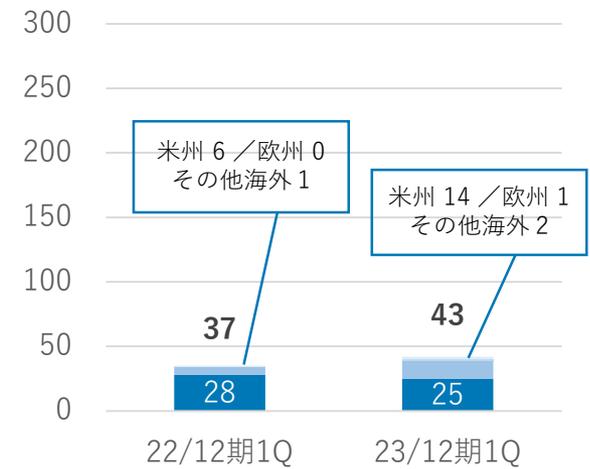
■国内 ■米州 ■欧州 ■その他海外

農業用管理機械



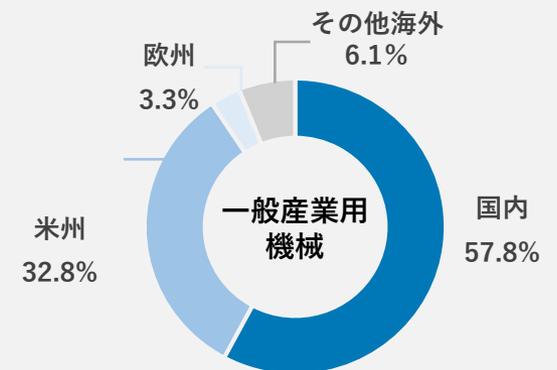
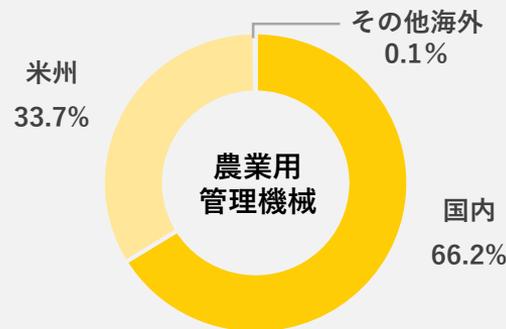
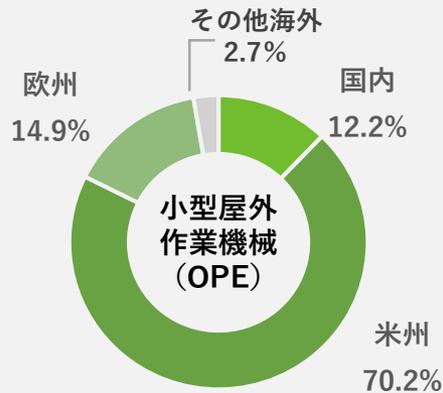
■国内 ■米州 ■その他海外

一般産業用機械



■国内 ■米州 ■欧州 ■その他海外

地域別比率（2023年12月期第1四半期）



トピックス①

伐木競技日本チャンピオン今井陽樹選手とアンバサダー契約を締結

国内の森林整備需要に対する大型チェーンソーの拡販に向けて、伐木競技の日本チャンピオンである今井陽樹選手とアンバサダー契約を締結しました。伐木競技支援を通じ当社製品の国内外でのブランド力向上に努めます。

なお、今井選手は4月にエストニアで開催された世界伐木チャンピオンシップに出場し、総合成績11位の結果を収めました。

【今井 陽樹選手 プロフィール】

今井 陽樹 (いまい ひのき)
1985年生まれ 愛知県出身

【大会成績】

2014年 第1回 日本伐木チャンピオンシップ(JLC)
in 青森 2位
世界伐木チャンピオンシップ(WLC)出場
2016年 第2回 JLC in 青森 出場
2017年 ドイツ伐木技能競技会海外選手枠 4位
2018年 第3回 JLC in 青森 4位
2019年 ドイツ伐木技能競技会海外選手枠 1位
第1回 JLC in 鳥取 優勝
2021年 第2回 JLC in 鳥取 優勝
2022年 第4回 JLC in 青森 優勝
2023年 第34回 WLC in エストニア 11位



当社ラジコン草刈機が「みどり投資促進税制」対象機種に認定

「みどり投資促進税制」は、環境負荷の低減に役立つ機械等を国が認定し、農業事業者が対象機械導入した際には税制優遇措置を受けることができる制度です。

当社のラジコン草刈機は、遠隔操作により人が立ち入ることが難しい場所や、足元が安定しない傾斜地での草刈りを容易にしたことで、雑草管理における化学農薬の使用量低減に貢献する機械として認定されました。

ラジコン草刈機「RCM600」



トピックス②

ハイブリッドエンジンパワーユニット搭載のドローンの飛行テストに成功

小型屋外作業機械の2ストロークエンジンをベースに開発したドローン用パワーユニット搭載のドローンの飛行テストを実施し成功しました。今後、パートナー企業との協業を通じて性能向上と実用化を目指します。



米国子会社「エコー・インコーポレイテッド」社長交代

米国子会社エコー・インコーポレイテッド（以下、エコーインク）の新社長にハロルドレッドマンが就任しました。

エコーインクは昨年設立50周年を迎え、今後の更なる飛躍に向けて、主力事業のOPE業界において30年以上の豊富な経験を有する同氏を新社長に迎えました。

なお、前社長であるティモシードロシーは引き続き当社やまびこの執行役員、エコーインクのエグゼクティブ・アドバイザーとして米国市場での事業拡大に携わる予定です。

経済産業省の定める「DX認定事業者」に認定されました

DX認定制度は、デジタルによって自らのビジネスを変革する準備ができている状態（DX-Ready）にあると判断された事業者を国が認定する制度です。

当社ではDX戦略を公表し、デジタル技術を活用した生産性の向上や収益性の改善、新規ビジネスの創出などに取り組むほか、デジタル人材の育成も進めています。



Harold Redman
(ハロルドレッドマン)

【略歴】

- 1988年6月 True Value Company /
Product, Marketing Manager
- 2002年5月 Simplicity Manufacturing Inc /
Executive Vice President -
Sales, Marketing, Product Management
- 2006年5月 Briggs & Stratton Corporation /
Vice President, President -
Home Power Products
- 2020年9月 Briggs & Stratton LLC /
SVP, President - Turf & Consumer Products

2

2023年12月期 業績予想

2023年12月期 通期予想

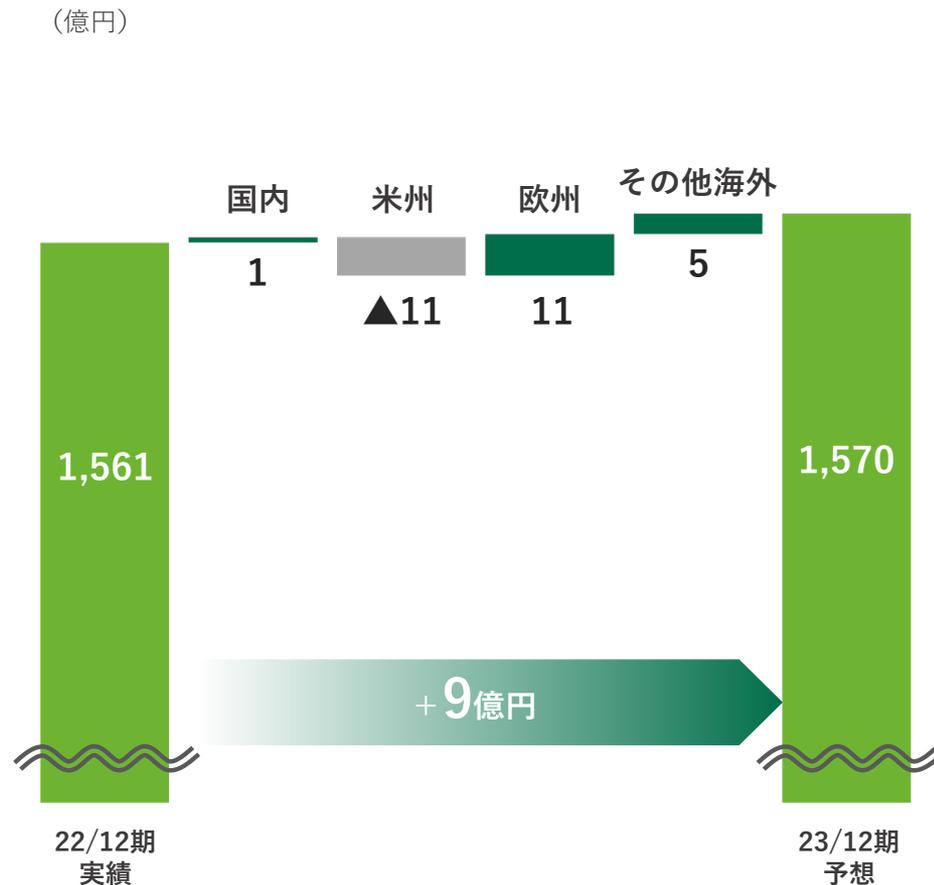
- 売上高は、国内農業従事者の購買意欲低下に伴い農業用管理機械の減収を見込むものの、小型屋外作業機械については新製品の投入と販売促進により、国内市場、並びに北米市場や欧州市場でプロユーザー向け販売が増加することに加え、北米市場における一般産業用機械の販売増加により、前年並みを見込む。
- 収益面においては、引き続き調達価格の上昇が利益を圧迫するものの、昨年同期中に実施した販売価格への転嫁が年間を通して相応に寄与することに加え、棚卸資産となっている在庫の販売が進むことで未実現利益の縮小が収益に寄与することから増益を予想。

(百万円)	22/12期 実績		23/12期 予想		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年比 (%)
売上高	156,159	100.0	157,000	100.0	+ 0.5
売上原価	115,664	74.1	109,000	69.4	▲ 5.8
販管費	31,806	20.4	34,500	22.0	+ 8.5
営業利益	8,688	5.6	13,500	8.6	+ 55.4
経常利益	9,217	5.9	12,800	8.2	+ 38.9
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,299	4.0	8,300	5.3	+ 31.8

■ 為替レート

1ドル	128 円	130 円	+ 1.4
1ユーロ	138 円	140 円	+ 1.8

連結売上高の地域別増減予想（円換算ベース）



国内

国内農業従事者の購買意欲低下に伴い農業用管理機械の減収を見込むものの、小型屋外作業機械と一般産業用機械販売の増加により前年並みの推移を見込む。

米州

北米市場において一般産業用機械販売の増加を見込むものの、OPEの一般ユーザー向け販売が減少し、減収を見込む。

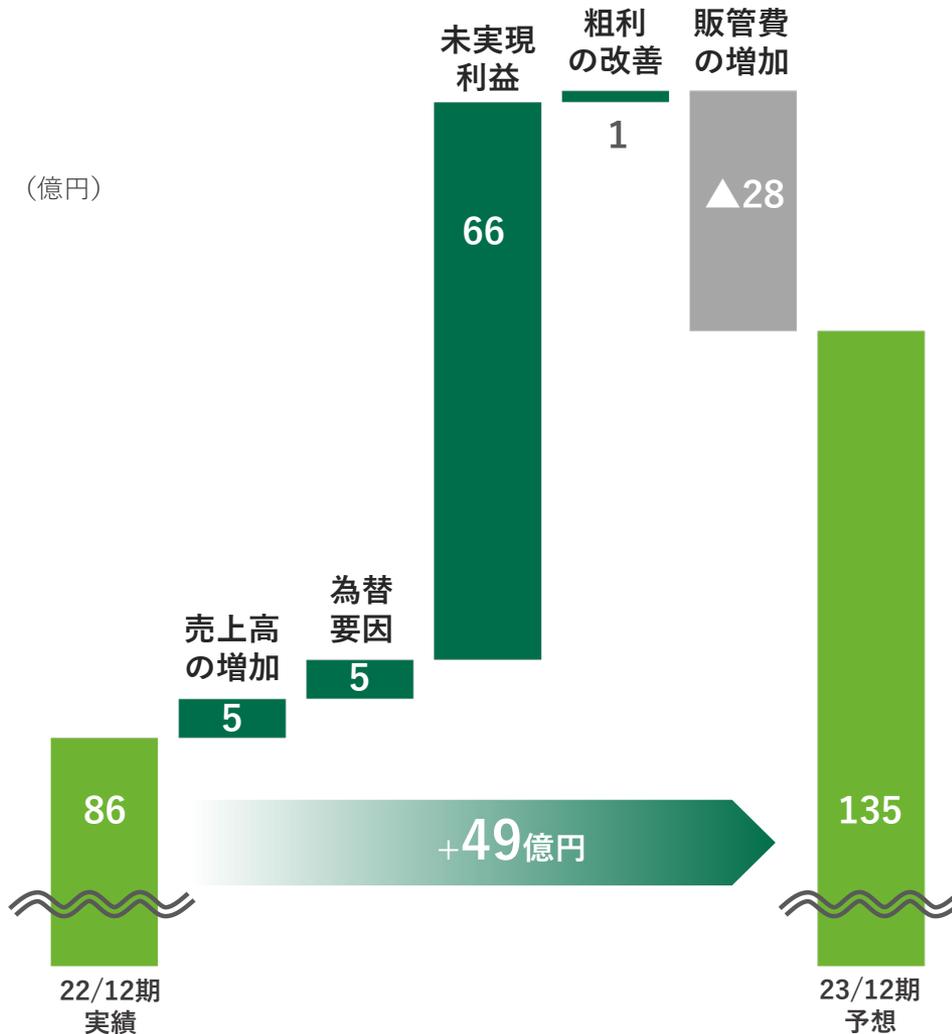
欧州

新製品の投入と販売促進によりOPEのプロユーザー向け販売が増加し、増収を見込む。

その他海外

オセアニアや中近東、アジア向けのOPE販売の増加により増収を見込む。

連結営業利益の増減予想



売上高要因

主に欧州OPEにおけるプロユーザー向け販売の増加。

為替要因

継続する円安が利益増加に寄与。

未実現利益

北米子会社における販売が進むことで未実現利益の縮小を見込む。

利益への影響額

23年12月期 29.3億円のプラス
 22年12月期 36.6億円のマイナス
 ⇒前期対比 65.9億円のプラス影響

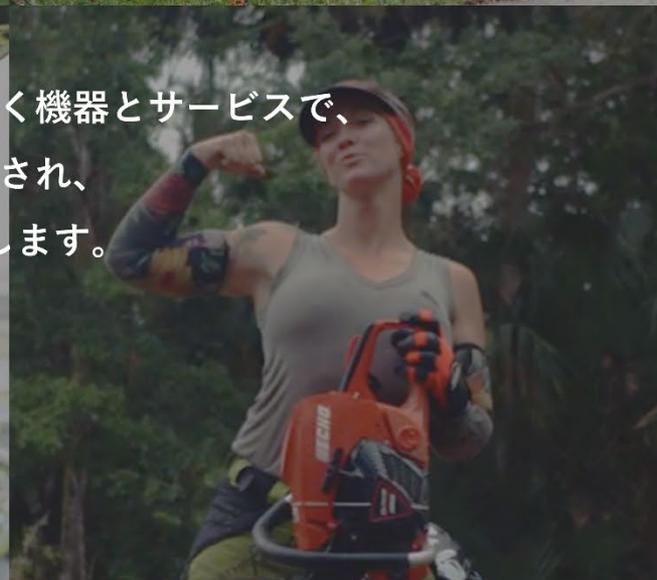
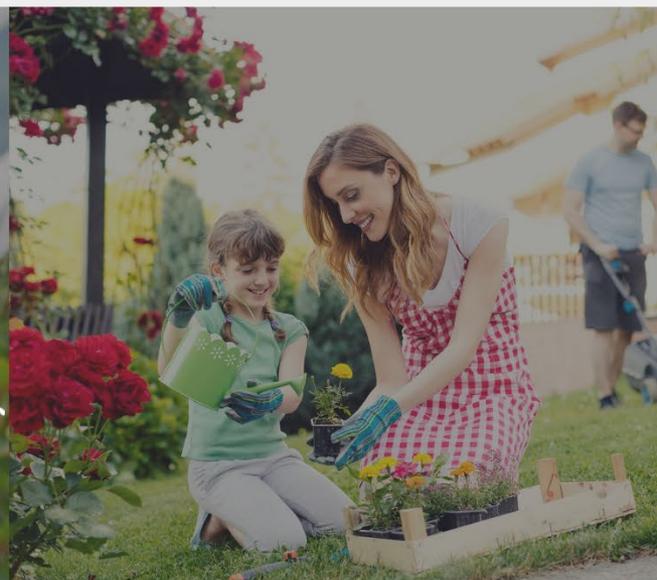
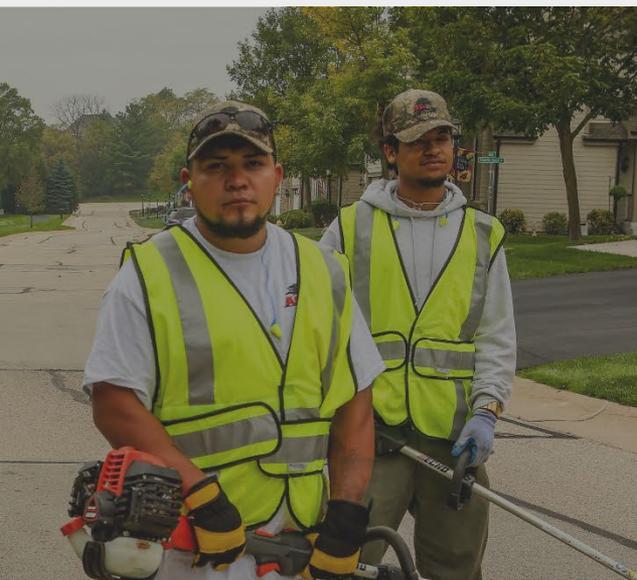
粗利

前期中に実施した調達価格上昇に対する販売価格への転嫁が、年間を通して粗利の改善に寄与。

販売管理費

国内と北米の人件費と開発・IT関連費用の増加など。

やまびこの存在意義



私たちやまびこグループは、
世界最高レベルの環境技術と安全・安心で革新的な良く働く機器とサービスで、
社会と人々に信頼と感動をもたらし、期待され、
豊かな自然と共生する輝く未来創りに貢献します。

APPENDIX

会社概要

会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	156,159百万円 (2022年12月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	12月31日
連 結 子 会 社 数	15社※ (国内6社・海外9社/2022年12月末現在)
従 業 員 数	3,354名 (2022年12月末現在/連結)
上 場 市 場	東京証券取引所プライム
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2022年12月末現在)
単 元 株 式 数	100株

※持分法適用関連会社1社を除く

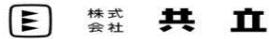
やまびこの歩み



世界初となる手持ちブロワに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発



2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立



株式会社 共立

設立 1947年 (昭和22年)



株式会社やまびこ

設立 2008年 (平成20年)

新タイワ工業株式会社

設立 1952年 (昭和27年)



電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発

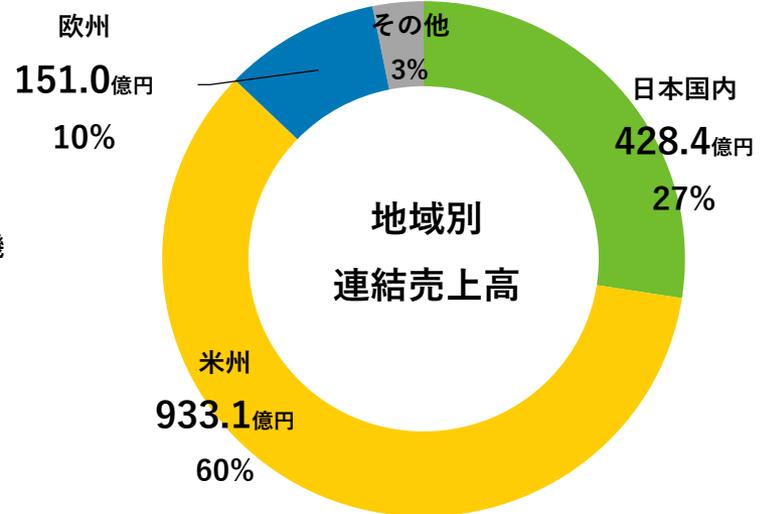
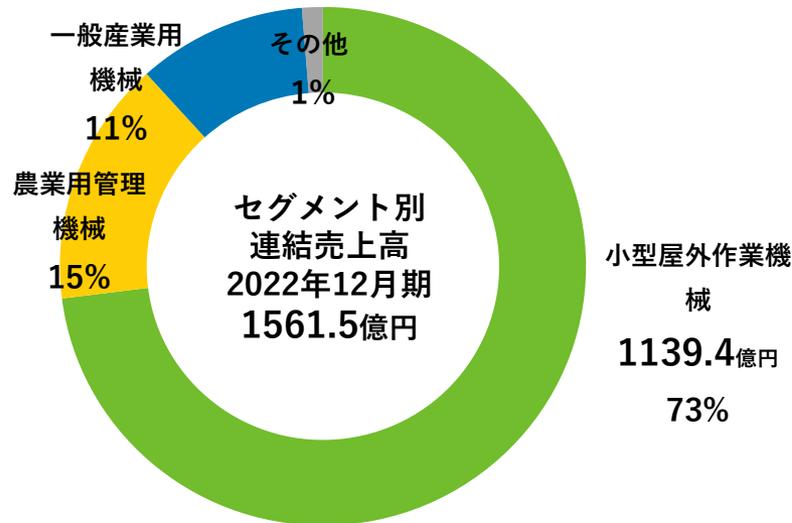
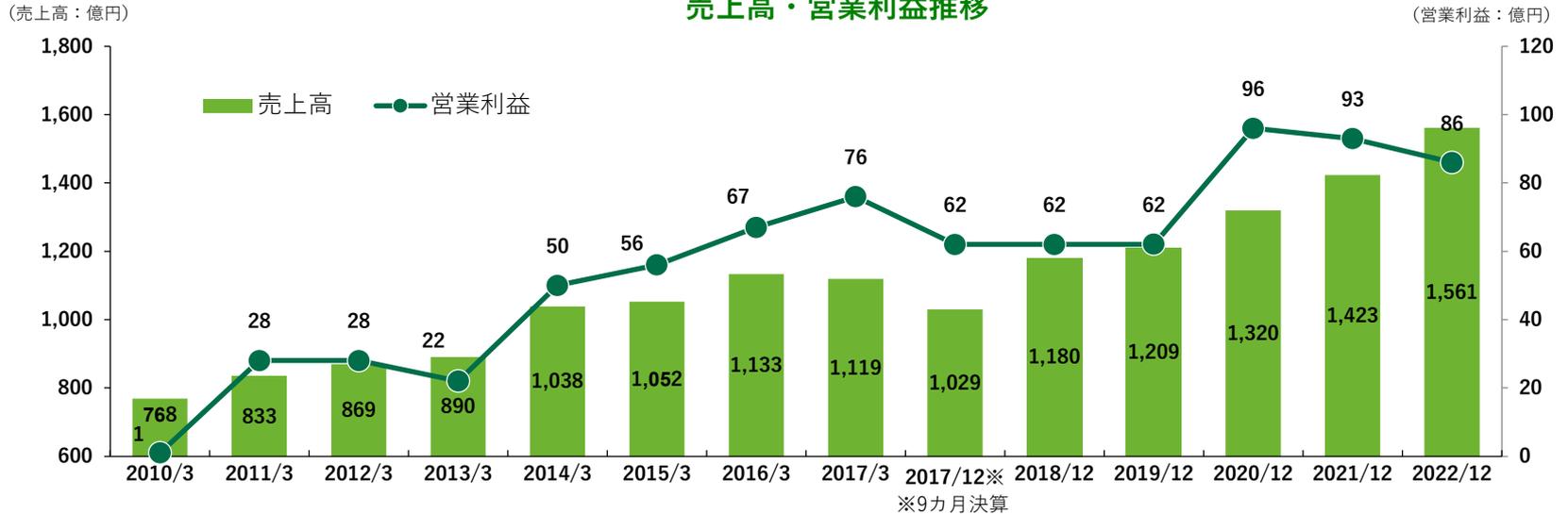


社名の由来

山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする

業績推移と売上構成

売上高・営業利益推移



事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）



売上高構成比

73.0%

（2022年12月期）

国内は農家・林業家の芝刈や伐木用として、海外はOPE※と称され、主に緑地管理を事業とする専門業者が庭や緑地の管理に使用する作業機として販売

海外においては造園業など緑地管理を事業とする専門業者向けのプロユーザー市場と主に自家用で使用する住宅所有者向けの一般ユーザー市場に分類

製品は動力源にエンジンやモーターを搭載した屋外作業機のほか、ロボット芝刈機も含む



技術的な強み

世界最高レベルのエンジン開発力

高品質・環境規制に適合したエンジン

- 小型・軽量・高出力（手持機械に最適）
- 環境対応エンジン認証数、業界トップクラス
- 鋳造から組立までを一貫して自社で行う生産体制
- 鉄めっき・放電加工など独自の技術を保有

市場ニーズを満たす製品開発力

- プロユーザー向けの高い作業効率を持つ製品を開発



※Outdoor Power Equipment

事業セグメント：農業用管理機械



売上高構成比

15.3%

(2022年12月期)

国内における防除機械、
北米における
農作物収穫機械の製造販売



技術的な強み

培った防除技術にICTを融合し、
スマート農業に貢献

送風技術・噴霧技術・散布技術

- 水田、畑作、果樹、施設栽培などあらゆる栽培体系において均一散布を実現
- 低騒音・大風量を実現する送風システムを開発
- 農薬飛散を低減させるやまびこノズルの自社開発

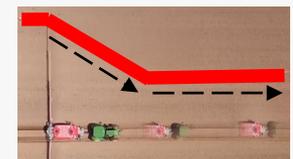


やまびこノズルの噴霧状態 (扇形状)
(平均粒子径 110~270 ミクロン)

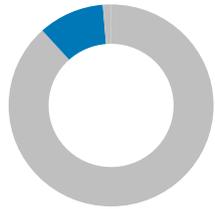


ICT

- 世界標準の通信技術 (ISOBUS) を用いて、トラクタと相互通信
- 全球測位衛星システム (GNSS) により圃場内に適正な量の農薬を適正な場所にムダなく散布
- 設定した圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術



事業セグメント：一般産業用機械

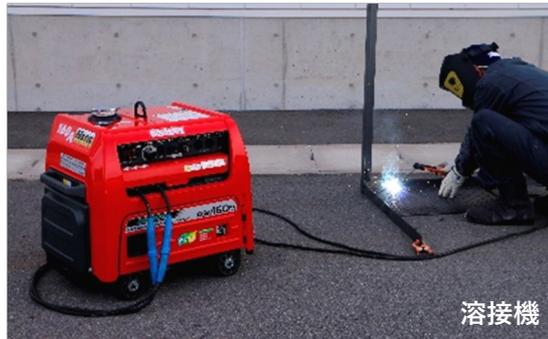


売上高構成比

10.4%

(2022年12月期)

建設工事・防災・減災のほか
資源採掘現場やイベント会場等で用いられる
機械の製造販売



溶接機

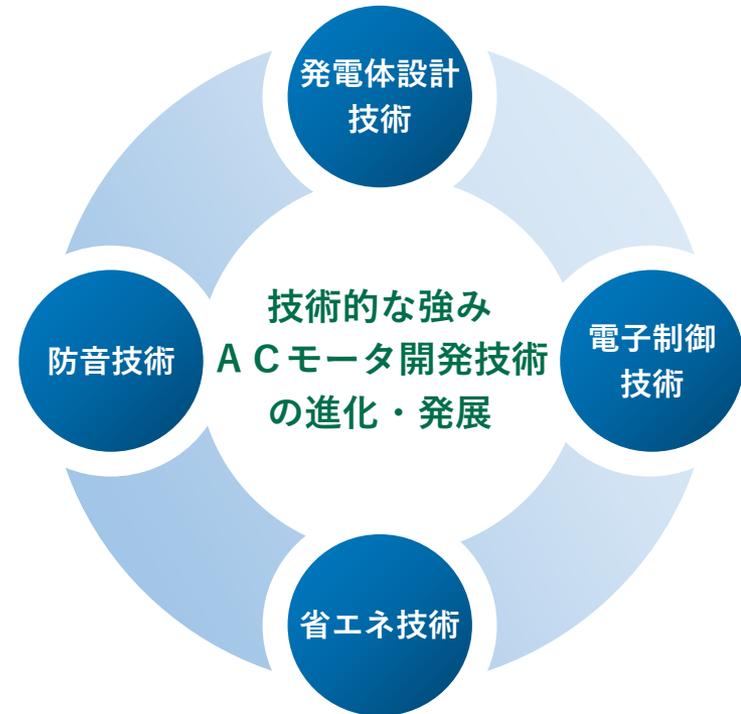


発電機



投光器

技術的な強み



世界初の三相/単相3線
切替なし同時出力可能
(米国特許・国内特許取得済み)



「ダブルECO」
低燃費・騒音排出ガス効果に優れた2つのエコ機能の開発

国内生産体制

- 生産事業所
- 生産子会社

生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造
 (機械加工・塗装・組立等)
 防除機の製造(板金・塗装・組立等)

※ 防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達



本社



生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造
 (鋳造・金属処理・機械加工・組立等)



生産本部 広島事業所

小型屋外作業機械の製造
 (機械加工・組立等)
 発電機・溶接機・電動工具
 の製造(組立等)

※ 発電機等の搭載エンジンは他
 メーカーからの調達

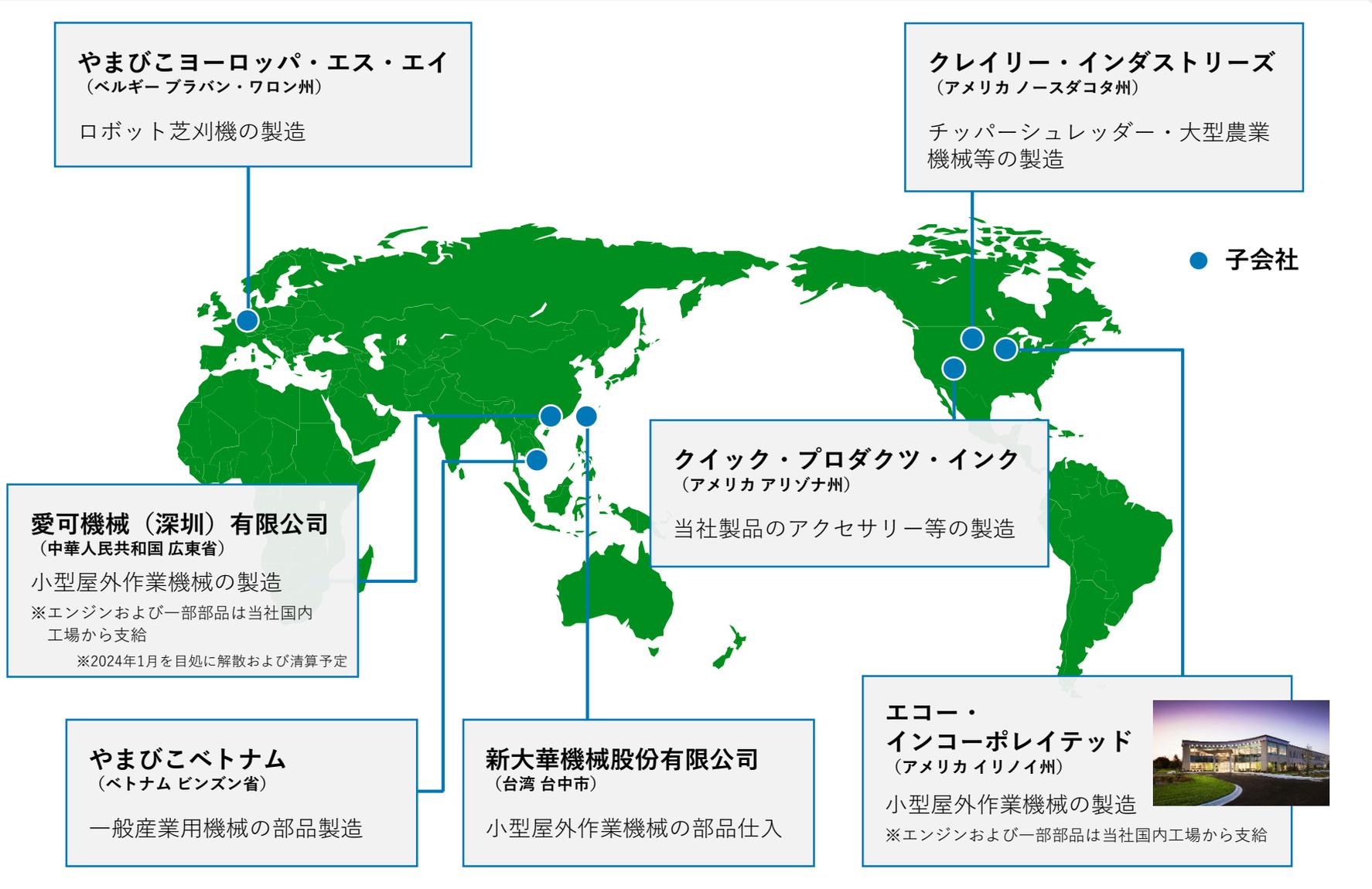


生産関連子会社

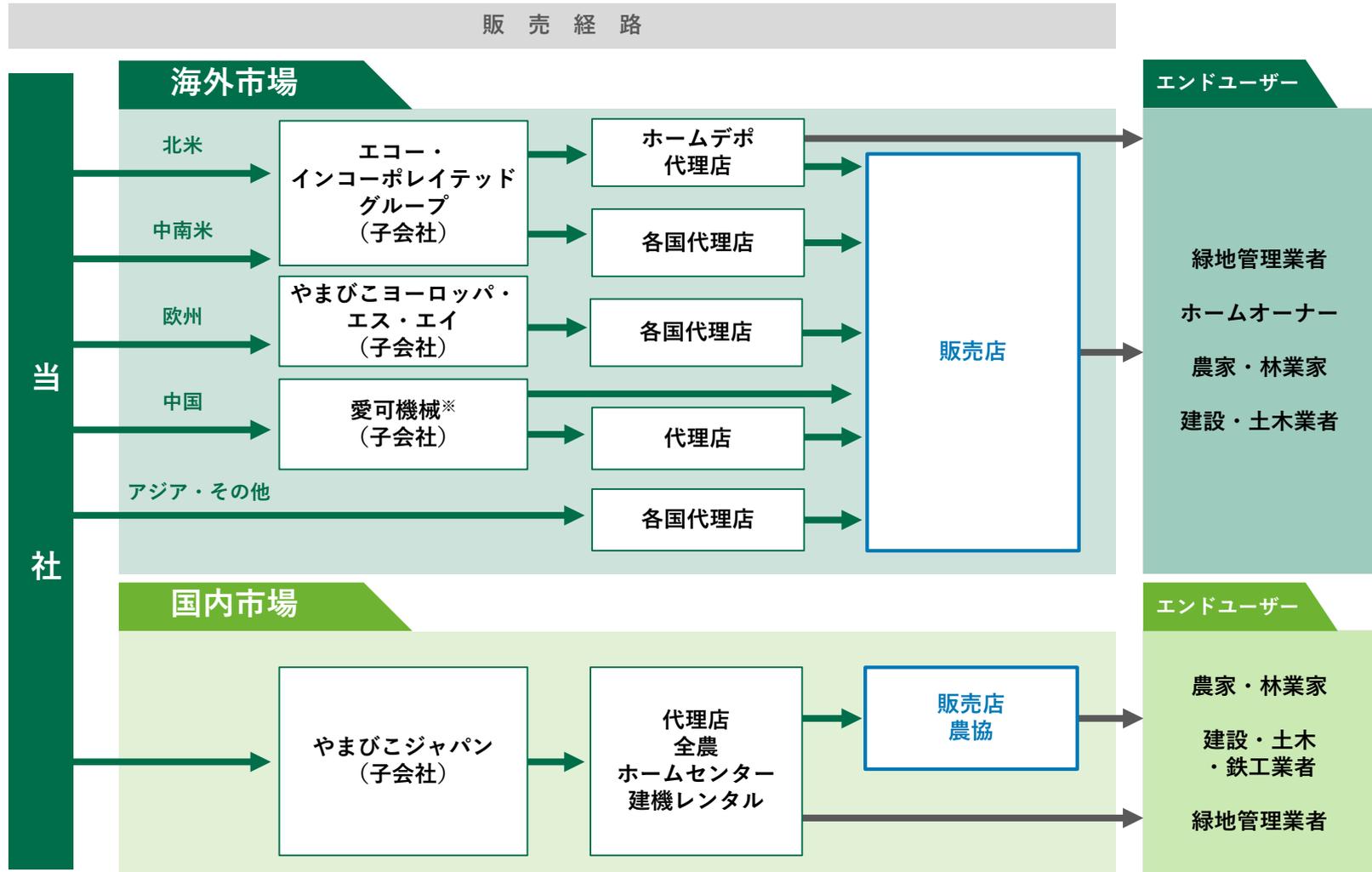
- 追浜工業株式会社 (横須賀市) : 電装部品
- 双伸工業株式会社 (青梅市) : 樹脂部品
- 株式会社ニューテック (長野市) : 試作部品
- やまびこエンジニアリング株式会社 (安芸高田市) : 板金加工



海外生産体制



主な販売経路



※2024年1月を目処に解散および清算予定

海外市場での販売とユーザー

販売店

ホームセンター、農機具店、ハードウェアストア、販売代理店など



- 海外における販売店では主にプロユーザー向けに高い作業効率と耐久性を有する製品を販売
- ホームセンターにおいてはハイエンドホームユーザー向けに品揃え

エンドユーザー



緑地管理業者



ホームオーナー



農家・林業家



建設・土木業者

日本市場での販売とユーザー

販売店

農協、農機具店、建機レンタル会社、ホームセンターなど



- プロユーザー向けには販売店や代理店と協力しながら展示会を実施し、実演や試乗を通じて販売
- 建設向けは、金物店や建機レンタル会社を通じて、個人ユーザーにはチェーン展開するホームセンターなどで販売

エンドユーザー



農家



建設・土木・
鉄工業者



林業家

主なグループ会社の状況

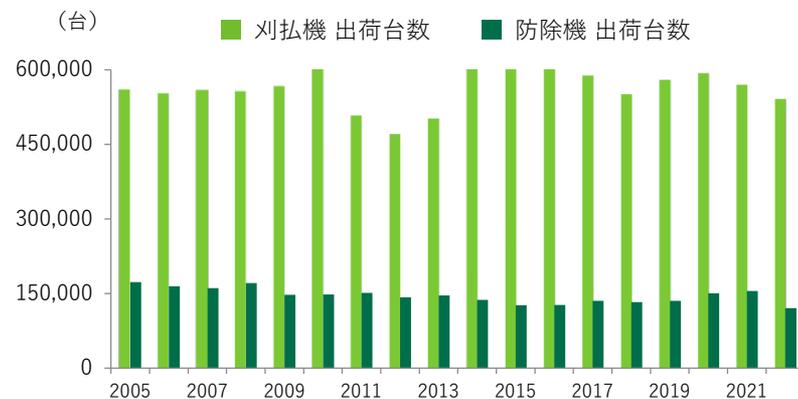
	海外	小型屋外作業機械	農業用管理機械	一般産業用機械
生産販売		エコー・インコーポレイテッド やまびこヨーロッパ・エス・エイ 愛可機械※	クレイリー・インダストリーズ	エコー・インコーポレイテッド
生産		クイック・プロダクツ・インク 新大華機械		やまびこベトナム
販売		ゴールデンイーグル ディストリビューティング		
	国内			
販売		やまびこジャパン		
生産		追浜工業 双伸工業		やまびこエンジニアリング

※2024年1月を目処に解散および清算予定

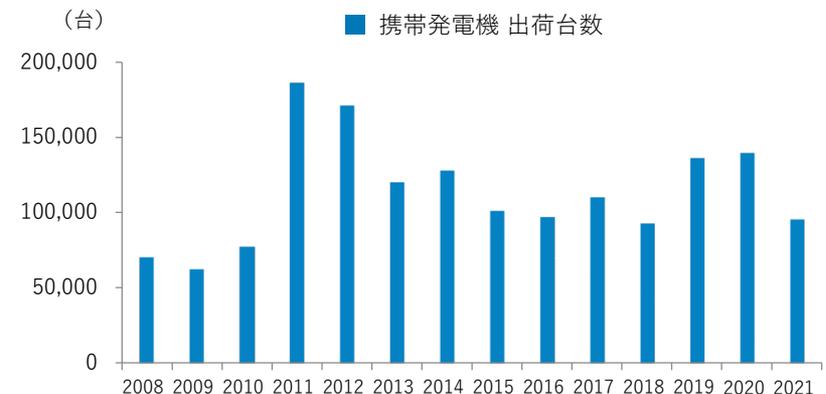
関連指標等

事業	関連指標等
小型屋外作業機械	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (刈払機)、米価 等
農業用管理機械	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (防除機)、米価 等
一般産業用機械	(一社) 日本陸用内燃機関協会 (携帯発電機)、 (一社) 日本建設機械工業会出荷金額統計 (その他建設機械)、 建設関連業等の動態調査報告、工作機械受注高 等

出荷実績



注：会員企業の入退会に伴い、2014年4月より報告会社数が変更。
 (防除機：7社→6社、刈払機：11社→12社)
 (一社) 日本農業機械工業会出荷実績



(一社) 日本陸用内燃機関協会携帯発電機研究会集計 (3kVA以下)

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問い合わせ先

株式会社 やまびこ 企画・経理本部 経営企画部

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2

e-mail : ir6250@yamabiko-corp.co.jp